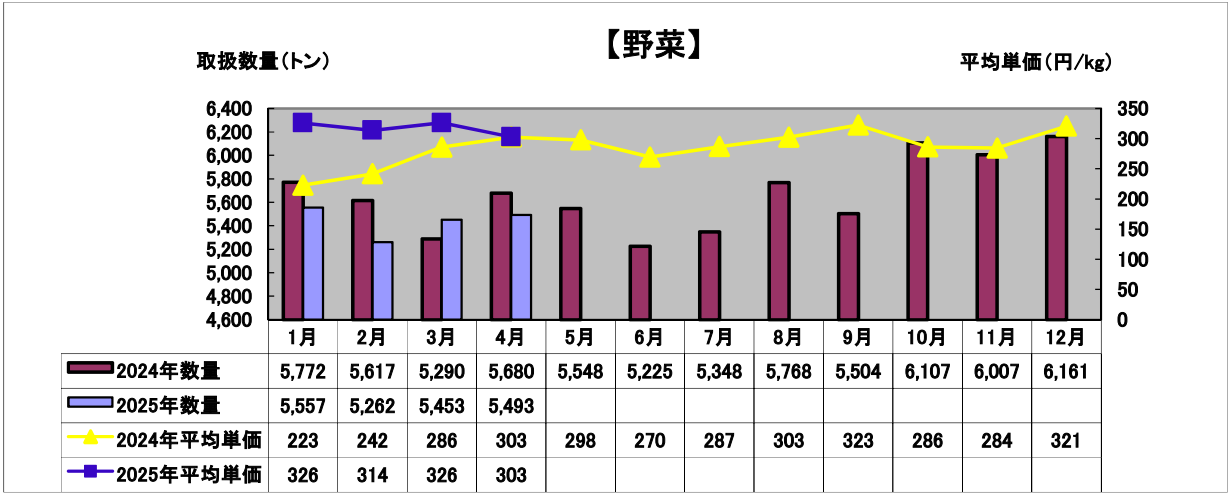
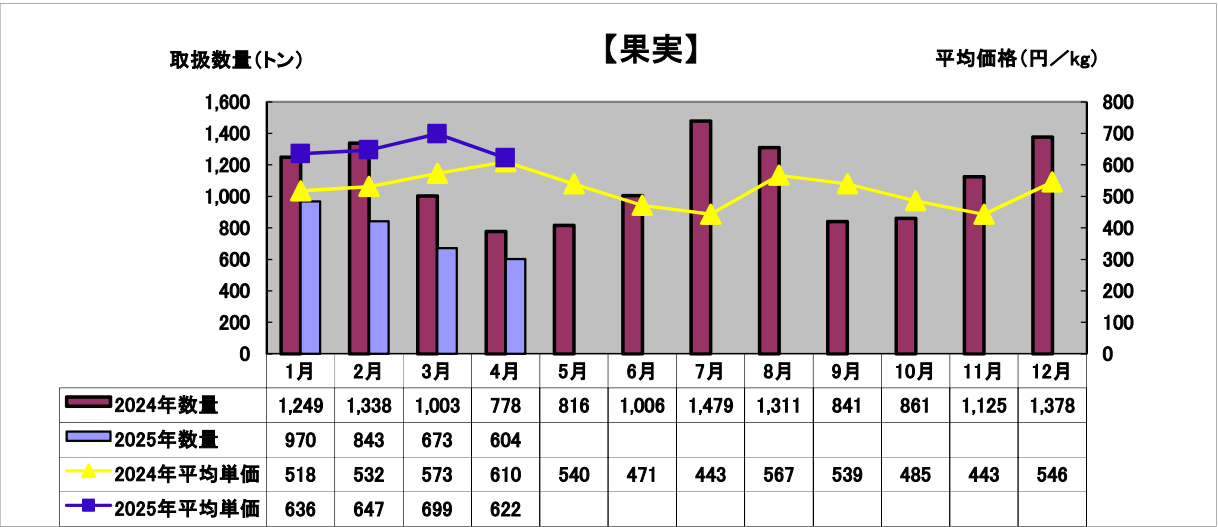


令和7年(2025年)4月 青果部種類別市況



4月中旬までは、畑で栽培される土物を中心に価格高となりましたが、中旬以降は、キュウリやカボチャなどの果菜類,レタスやセロリなどの洋菜類の売れ残りが目立ちました。前年に比べ数量はやや減少し、平均単価は横ばいに推移しました。

前年比数量 97%、単価 100%で終了しました。



中晩柑類やりんごの在庫の少なさや、いちごの過熟果によるロスなどが原因となり、入荷が減少しました。そのため、前年に比べ数量はかなり減少しました。単価についてはやや増加しました。

前年比数量 78%、単価 102%で終了しました。